



初のアイヌ文化振興担当 町地域おこし協力隊の乾さん ～文化・歴史の普及・PRに期待～



町は、現在5人が活動している地域おこし協力隊員に、乾藍那さん(34)を新たに委嘱しました。乾さんは札幌市出身。京都市立芸術大学卒業後、イタリアのヴェネチア国立美術大学院で6年間油画を学びました。帰国後は北海道日伊協会でイタリア語の講師を務めていた異色の経歴の持ち主です。

応募のきっかけは、両親が共に大学教授で自宅の本棚には伝統的住居や美術史の衣装に関する書物もあり、幼少の頃からそこに記載されたアイヌ文化に親しみを感じてきたことが一つにあったということです。また、自然豊かな土地で暮らしたいと願っていた乾さんは、ウポイを見学に来た際に、4才の息子さんが虫を捕まえたりして遊ぶ姿を見て白老で暮らせたらと思いました、と言います。

活動はアイヌ文化・歴史の広い発信、関係団体の組織運営支援、文化の保存伝承支援などですが、「勉強して学んだことをストーリーマンガにしてSNSで発信したい。白老の魅力やアイヌ文化の素晴らしさを伝えられれば」と意欲を見せています。委嘱状を手渡した古俣博之副町長は激励の言葉をかけ期待を寄せていました。(10月1日)



NPO 法人しらおい創造空間「蔵」創設記念日特別シンポジウム 白老から世界へ、世界から白老へ～ポスト・コロナ時代のまちと文化創造～

しらおい創造空間「蔵」は、2000年のオープン以来、文化・芸術・社会教育に関する事業に取り組んできました。2021年、新しいメンバーを迎えて新体制となった「蔵」は、ポスト・コロナ社会における新たな役割として、白老の創造的な可能性を発信する特別シンポジウムを開催します。参加無料。

日時 11月3日(水) 14時～17時

場所 しらおい創造空間「蔵」

第1部 シンポジウム

「白老から世界へ、世界から白老へ」

- ・野本正博さん(民族共生象徴空間「ウポイ」運営本部・文化振興部長/旧アイヌ民族博物館館長)
- ・佐々木史郎さん(国立アイヌ民族博物館館長)
- ・相内学さん(星野リゾート北海道統括総支配人)

第2部 パネルトーク&プレゼンテーション

「白老で生まれたクリエイティビティ」

- ・国松希根太さん(アーティスト)
- ・さっちゃん(大学生)
- ・西尾圭史さん(プーランジェリーニシオ オーナー)
- ・中谷公祐さん(広告プランナー)

申し込み ☎0144-85-3101へ連絡するか、<https://shiraoi-kura.com/>から。

※感染症対策のため席数を限定していますので、申し込み後予約確定の連絡をします。

※オンラインでの参加も可能です。申し込みの方には前日までに参加用リンクをEメールで連絡します。



町民の利便性アップへ

▶ 身近な郵便局で証明書などを交付

▶ “乗り放題”で利用できる定期券を販売

町内の社台、萩野、竹浦、虎杖浜の4郵便局で、住民票の写しや印鑑登録証明書の交付、国保関係の届出書・申請書の受け付けなど諸事務を、祝日や年末年始を除く月～金曜の9時～17時で取り扱っています。



写真は萩野郵便局

問い合わせ先:
総務課 総務情報グループ ☎82-4277
※詳しくは町ホームページまたは9、10月号を参照してください。

業務を開始しました

元気号・カムイ号・ぐるぼん各公共交通の単独または2種類の組み合わせ(全7種類)で、一定期間(2・4・6カ月)乗り放題として利用できる定期券(パス)を役場と各出張所で販売しています。



写真は役場特設購入窓口

問い合わせ先:
政策推進課 地域戦略推進グループ ☎82-8213
※詳しくは町ホームページまたは9、10月号を参照してください。